

令和5年5月11日

各位

会社名 日本精密株式会社
(コード番号: 7771 東証スタンダード)
代表者名 代表取締役社長 井藤秀雄
問合せ先 財務・経理部長代理 中畠伸樹
(TEL (048)225-5311)

連結業績予想の修正及び個別業績見込みについて並びに
営業外収益及び特別損失に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、令和4年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせするとともに、令和5年3月期通期連結会計年度において、営業外収益及び特別損失を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正及び個別業績見込みについて

● 連結業績予想の修正について

令和5年3月期通期連結業績予想数値の修正 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,057	165	122	109	4.95
今回修正予想(B)	6,900	181	257	175	7.97
増減額(B-A)	843	16	135	66	
増減率(%)	13.9	9.8	111.0	61.1	
(ご参考)前期実績 (令和4年3月期)	5,739	80	189	△128	△5.82

● 個別業績見込みについて

令和5年3月期通期個別業績見込み (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—
今回発表予想(B)	4,715	16	△60	△2.77
増減額(B-A)	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	

通期連結業績予想修正の理由

令和5年3月期の連結業績予想につきましては、売上高は当初計画値を843百万円上回り、6,900百万円となり、営業利益181百万円、経常利益257百万円、親会社株主に帰属する当期純利益175百万円にそれぞれ修正する見込みとなりました。

理由につきましては、売上高は、時計関連及びメガネフレームは円安の追い風もあり、コロナ禍前の水準に戻りつつあり、また、釣具・応用品は、4期連続二桁の伸びを記録しており、それぞれ予想を大幅に上回りました。それにともない、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益もそれぞれ大幅に予想を上回りました。

通期個別業績見込み

令和5年3月期の実態業績予想につきましては、事業構造改善費用の特別損失の計上などにより△60百万円の当期純損失の計上となる見込みです。

2. 営業外収益（為替差益）の内容

令和5年3月期通期連結累計期間におきまして、為替相場の変動により営業外収益に為替差益83,994千円を計上しております。

3. 特別損失（事業構造改善費用）の内容

当社グループは、収益の改善を目指し、事業の構造改革を実施し、経営効率の改善に取り組んでおります。

令和5年3月期通期連結累計期間におきまして、本事業構造改革に伴い発生する費用及び損失を合理的に見積り、特別損失に事業構造改善費用31,492千円を計上しております。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上